

2009年4月17日

～原材料調達段階から生産段階までの温室効果ガス排出量の「見える化」へ～ 国産材合板への「カーボンフットプリント」表示を開始

住友林業株式会社（社長：矢野 龍 本社：東京都千代田区丸の内 以下、住友林業）の子会社である、住友林業クレスト株式会社（社長：安田 敏男 本社：東京都千代田区丸の内 以下、住友林業クレスト）は、製造・販売する国産材合板への自主的な「カーボンフットプリント（CFP）＊1」表示を5月から開始いたしますので、お知らせします。木材製品へのカーボンフットプリント表示は業界初の取組みとなります。

住友林業では、2006年度から東京農工大学と共同で当社グループのライフサイクルアセスメント（LCA）＊2調査を行っており、2007年度には住友林業クレスト小松島事業所が製造する合板に関する同調査を実施いたしました。この結果、合板の原材料調達から生産までの温室効果ガス排出量が把握でき、同社製品へのカーボンフットプリントの表示が可能となりました。

住友林業グループが国内で積極的に活用している国産木材は、長距離輸送が必要な輸入木材に比べ、原材料の調達段階のCO₂排出量が格段に少なく済みます。住友林業クレストでは、製造する合板の原材料である原木を、輸入木材から国産木材への切り替えを進めており、それにより合板1枚当たり1.20 kgのCO₂削減＊3につながります。住友林業クレストでは、今回表示された数値を基にして更なるCO₂排出量削減を進めていく方針です。また、今回の表示は自主表示となりますが、今後は市場導入に向けて制度化が進められているカーボンフットプリント制度の活用も検討していく予定です。

- *1 カーボンフットプリント（Carbon Foot Print：CFP） 商品・サービスのライフサイクル全般（原材料調達から廃棄・リサイクルまで）で排出された温室効果ガスをCO₂に換算して簡易な方法で分かりやすく表示したものです。
- *2 ライフサイクルアセスメント（Life Cycle Assessment：LCA） 製品の一生、すなわち原材料調達、製造、輸送、販売、使用、再利用、廃棄まで全ての段階での環境負荷を総合して評価する方法。
- *3 《参考資料》2.を参照。

■ 住友林業クレスト株式会社（住友林業(株)100%子会社）

本社	東京都千代田区丸の内1-8-1
代表者	安田 敏男
事業内容	木質系住宅関連部材、住宅設備機器の製造販売 集成材、階段部材、カウンターの製造販売 普通合板、二次加工合板の製造販売
従業員数	706人（平成21年4月現在）
ホームページ	http://www.sumirin-crest.co.jp/

参考資料へ

以上

《本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。》

住友林業株式会社
コーポレート・コミュニケーション室 佐野・大屋
TEL：03-3214-2270

《お客様からの製品に関するお問い合わせ先》

住友林業クレスト株式会社
山村・松本
TEL：03-6730-3610